

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新潟県立国際情報高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒949-7302
新潟県南魚沼市浦佐5664-1
 E-mail : school@kokusaijouhou-h.nein.ed.jp
 Website : http://www.kokusaijouhou-h.nein.ed.jp
 児童生徒数：男子 183 名 女子 237 名 合計 420 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ①海外研修として、本校1年生が、10月にアメリカ・ボストンにおいてアメリカ大学のキャンパスツアー、フィールドワーク、ホームステイを行った。また、3月には、アメリカ・シカゴ、オーストラリア・シドニーの姉妹校等を訪れ、学校体験、ホームステイをした。
- ②アメリカの高校生（イリノイ州エバンストンとユタ州マグナ）が日本の学校体験として本校を訪問し、授業を受けたり、ホームステイやそば作り等の日本文化体験を行った。本校の生徒は学校紹介のプレゼンを英語で行うなどの交流をした。

[2] 1、2学年：国際理解学習

- ①海外研修 自分自身や日本文化の理解を深めたり、国際的なコミュニケーション能力を養う目的で、オーラルコミュニケーションⅠを活用し、プレゼンテーション用写真帳を制作し、それをういた英語によるプレゼンテーションの練習をした。3月末の海外研修に参加する者は研修先で役立つ。また、授業外では、海外の高校生に日本の文化を伝えるプレゼンテーションの準備や練習をした。帰国後は報告書をまとめたり、現地でお世話になった方々へ英文で手紙を書くなどの交流を続けた。

[3]ユネスコ部（クラブ活動）

- ・海外の高校生が来校した際に、学校生活や日本文化についてプレゼンテーションを行ったり、テーマを決めてディスカッションをした。
- ・原子力発電の是非についてディベートを行い、今後の日本のエネルギー政策について考え議論した。県予選を勝ち抜き、全国ディベート大会に出場した。
- ・近隣の国際大学の文化祭に参加し、様々な国から来ている留学生に、インタビューを行った。学校内で内容をまとめて発表した。
- ・ユニクロの企画する「集めよう、服のチカラプロジェクト」に参加し、約1600枚を超える子ども服を集め、ユニクロを通して発展途上国へ送った。

[4]交流委員（委員会活動）

- ・海外の高校生を受け入れる準備を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)